

地域包括ケアシステム

誰もが暮らしやすいまちづくり

高齢者虐待防止へのご協力をお願いします

厚生労働省の調査によると、国内では毎年1万5000件以上の高齢者虐待が発生しています。桑名市でも発生しており、平成27年度には49件の高齢者虐待がありました。しかし、これらの件数は市が把握できたとごく一部の数字であり、実際にはもっと多くの高齢者虐待が発生していると考えられます。

高齢者虐待が発生した場合、その対応は地域包括支援センターが担っています。しかし、市や地域包括支援センターが高齢者虐待の発生を自ら発見することは少なく、実際には医師や、介護支援専門員、民生委員といった医療・福祉関係者、警察、そして住民の皆さんからの連絡があって初めて把握することができるのです。

皆さんの周囲で次のような虐待が疑われるサインに気がついた場合は、お近くの地域包括支援センターに連

絡をお願いします。市と地域包括支援センターは守秘義務をもっていますので、通報者が明らかにされることはありません。

高齢者虐待への対応は、虐待を行った家族の責任を追究することが目的ではなく、家族に対して介護等に関する相談や支援を行い、虐待の起こりにくい適切な環境を整えることをめざします。

皆さんの協力が高齢者の生命、身体、尊厳を守り、そしてその家族への支援につながるのです。あなたの勇気が高齢者を守ります！

高齢者虐待判断件数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
全国	15,202	15,731	15,739
三重県	267	265	217
桑名市	20	14	28

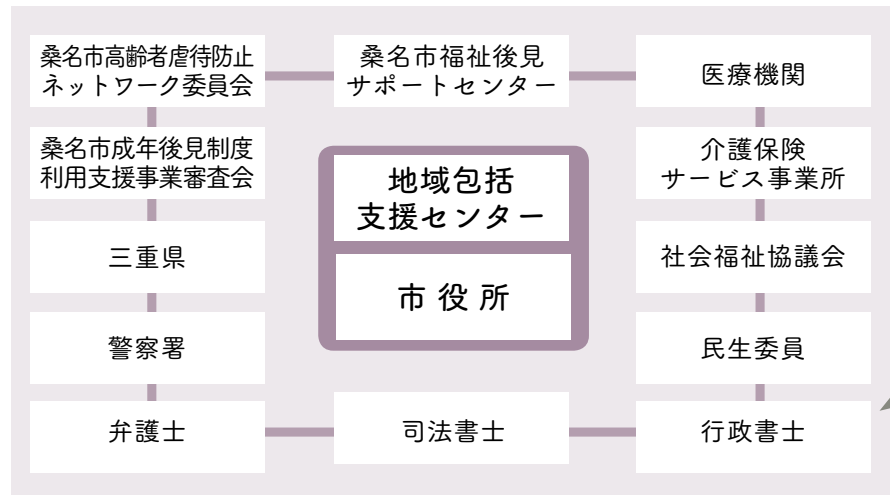
こんなことに気づいたら地域包括支援センターに連絡を！

- 高齢者が助けを求め、おびえている。
- 不自然なケガ(傷、アザ、やけど等)がある。
- 自宅から大声、叱り声、怒鳴り声が聞こえる。
- 家族が適切な介護をしていない。
- 必要な医療、介護を受けていない、受けさせない。
- 高齢者に無関心、無視する、乱暴な言い方をする。

高齢者虐待の種類

- 身体的虐待(殴る、たたく等)
- 介護等放棄(オムツを交換しない、食事を提供しない等)
- 心理的虐待(怒鳴りつける、無視する等)
- 性的虐待(高齢者が嫌がる性的な行為を強要する等)
- 経済的虐待(高齢者の年金を使い込む等)

桑名市は、高齢者虐待への対応を多くの支援者・機関と連携して行っています



「法福連携」懇談会の開催

弁護士・司法書士などの法律専門職と福祉専門職による緊密な連携の仕方について話し合いを行っています。

問 中央地域包括支援センター (☎ 24 - 5104 FAX 27 - 3273)

桑名の憩い

通いの場

紹介

平福美

〈多度町平賀・西福永地区〉

「平福美」は「みんなが楽しく過ごせる場を作りませんか」という世話人の山田さんの呼びかけをきっかけに生まれ、桑名いきいき体操スタート応援事業を活用して平成27年9月から活動しています。

会の名称は参加者たちで考えたいので、地域名の頭文字と皆が美しくあろうという願いから付けられました。毎回15人程度が参加し、お寺の本堂を借りて、桑名いきいき体操や脳トレクイズなどを行っています。

参加者は「みんなと顔を合わせて



参加者の皆さん(世話人の山田さんは後列左から2番目)

- 〔活動日時〕 月1・2回(火曜または金曜日) 午後2時～3時30分
- 〔活動場所〕 願琳寺(多度町東平賀1885)
- 〔活動内容〕 桑名いきいき体操、脳トレ(言葉の並べ替え・間違い探し等)、おしゃべり
- 〔対象〕 平賀・福永地区の人など
- 〔お問い合わせ先〕 世話人: 山田さん(☎48-2078 願琳寺)

通いの場とは…
「介護予防」、「閉じこもり予防」、「健康づくり」のため、集会所などの場所で、地域の住民が運営する「地域住民の集う場」をいいます。

話せるのがいい」「頭を使うのが楽しいから、クイズが楽しい」「この日が来るのが待ち遠しい」などと開催の日を楽しみにしています。

山田さんは「人間関係が希薄になつたと言われる現代社会の中で、和気あいあいと過ごしてきたつながりやを大切にしていくなかで、少しでもお役に立ちたい。集落の枠にこだわらず、参加者と楽しく過ごし、仲間意識を高めた」と話します。今後は「気楽に集まる場になるようみんなで力を合わせてこの会を支えていきたい。車いすの人も参加できるような環境を整えられたらいいな」と話します。

「2025年問題」をみんなで乗り越えよう！つながり支え合うまちあなたから！

地域支え合い体制づくりフォーラム

「2025年問題」とは、2025年ごろにいわゆる「団塊の世代」が75歳以上となり、本格的に「超高齢社会」に直面する問題のことです。市では「2025年問題」を乗り越えるための地域支え合い体制づくりを進めています。



ワークショップの様子

このフォーラムでは、地域や社会とのつながりが健康とどんな関係にあるのかについての講演と、今年度、宝くじ助成を受けて開催した市内の3つのモデル地区(精義・益世・大山田地区)のワークショップに参加した地域住民の人たちを中心に報告会を行います。



宝くじの助成金で実施します

- 【第一部】 基調講演「人と人とのつながりが健康に良いてホント!?!」
- 【第二部】 報告会 「いつまでも住み続けられる地域づくり作戦会議」の報告

とき 2月18日(土) 午後1時30分 **場所** くわなメディアライヴ多目的ホール
講師 東京大学大学院医学系研究科 准教授 近藤 尚己さん **料金** 無料
申込 不要 **問** 地域介護課 (☎ 24 - 1489 FAX 24 - 3133)



近藤 尚己さん

介護予防のための市民向け講演会(口腔ケア講演会)

「食べる」ことから健康寿命を考える

とき 3月5日(日) 午後1時30分～4時 **場所** 市民会館 2階小ホール
講師 藤田保健衛生大学医学部 歯科 谷口 裕重さん **料金** 無料 **申込** 不要
問 中央地域包括支援センター (☎ 24 - 5104 FAX 27 - 3273)、
 (一社) 桑員歯科医師会 (☎ 22 - 3517)

